**京都ボランティアバンク補助金**　**補助金活用事例集**

京都ボランティアバンク補助金を御活用いただいた事例を御紹介します。補助金を御活用いただく際の参考にしてください。

1. **スタートアップ支援補助**

●暮らしの困り事に関するボランティア

・町内に暮らす一人暮らし高齢者や障害者の方を対象に、暮らしの中での困りごとに応える”なんでもボランティア”グループとしてグループを立ち上げ。

・地域において、暮らしの中での困りごとへの対応、地域の清掃活動、ふれあい農園の運営などを通して、地域住民のコミュニティ醸成を目指す。

●地域の中での居場所づくりのボランティア

・子育てに関する悩みを持つ親の支援を目的に、地域における子育て交流サロンの開催、発達障害等についてや子どもへの親の関わり方等の学習セミナーを開催。

・町の老人福祉センターの中で、どなたでも利用できる喫茶の取り組みを開始。町内では喫茶店が少ないため、地域の方たちの交流の場として喜ばれている。

●防災に関するボランティア

・地域のお母さん方が、災害が発生した際に、子どもたちを守ることが出来るよう、知識や技術、各方面への連絡調整の手法について学ぶ学習会を実施。

・災害時を想定した炊き出し訓練を行い、状況に適応した供給が行えるようチームワークと技術を磨くととに、地域の子どもにも呼びかけて災害時に活用できるパッククッキングや携帯トイレトレーニング等の勉強会の実施。

●趣味や特技を活かしたボランティア活動

・出張囲碁のボランティア。外出が困難な方を対象とし、依頼を受け、個人宅や福祉施設等へ出向き囲碁を通して見守りを行う。

・おもちゃ病院の取組み。おもちゃ修理を無償で行い、おもちゃ修理を通して子どもたちに物を大切にする心を育て、世代間交流の場を生み出す。

●まちづくり・地域振興に関するボランティア

・地区内の遊休地を活用し、オリーブ関連産業を創出し、地域経済の活性化や、地域振興につなげる活動に取り組むボランティア団体。

・音楽・アート・読み聞かせなどのイベント開催や、インターネット放送局の運営を行うことで、町の魅力を広く発信していくことを目指す活動。

1. **ボランティア活動継続支援補助金**

**活用事例③：必要機材の老朽化による買い替え**

・・・毎日型サロンとして、高齢者等の参加者に昼食の提供を行うとともに、身体の都合等でサロンに参加することが難しい方には昼食を配達している。現在使っているガス釜が老朽化していたため、買い替えを行い、安定した活動の継続につながった。

**活用事例②：視覚障がい者への音訳による情報提供活動を行うためのパソコンの整備**

・・・約40年間に渡り、市内の視覚障がい者への情報音訳活動を行っている。現在のパソコンはいずれも機種・OS共に古く不具合が起こりがちであった。日々の録音物の安定的な製作に支障が発生しない体制を整えるため、新しいパソコンを導入した。結果、効率的かつ安定的に音訳CDの製作作業を行うことが出来、活動の継続につながった。

**活用事例①：地域の他グループも交えた学習・交流会の実施**

・・・幼児から高齢者までを対象に「おはなし語り」や「工作」を行う。グループメンバーの研鑽を深めるために勉強会を開催。地域の他の読み聞かせグループにも呼びかけ一緒に学ぶ場とすることで他グループとの交流にもつながった。メンバーのモチベーション向上にもなり、活動の継続につながった。

1. **地域課題支え合い補助金**

|  |
| --- |
| **活用事例：防災講座の実施**  ・・・支援学校卒業後の障害のある社会人を対象に、「ボランティア活動」、「学習活動」、「余暇活動」を行っている団体。大災害が発生した際、支援を要する障害者への情報伝達、日頃からの災害の備えに関しての講座を実施。対象を団体メンバー、地域住民等とし、地域の障害理解の促進に貢献。 |

|  |
| --- |
| **活用事例：生活支援活動の実施**  ・・・市民が自発的に福祉活動に参加出来、安心して住みよい地域社会をつくるために、社会福祉協議会と協働しボランティア活動の発展と地域福祉の向上、ボランティアの社会的地位向上を目指し活動を行っている。お互いさまのこととして支え合いを行うためにサポーターの養成を行うとともに、「家事の手助け」、「簡単な補修」等の市民の日々の暮らしの困りごとを解決のために取り組んでいる。 |

|  |
| --- |
| **活用事例：屋外での活動拠点づくりの実施**  ・・・新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民同士のつながりの希薄化等がより深刻化しているため、屋外で地域住民同士が活動を通して交流できるように、放棄地の農地を活用し、多世代交流ができるように実施。 |

**④社協ボランティア振興チャレンジ補助金**

**活用事例①：ボランティアの新たな活動創出・担い手づくり**

**こどもの貧困に関する実態調査と居場所づくり**

・・・町内の小中学校にこどもの生活実態を聞き取り調査し、その結果を踏まえ、こどものための居場所「ひみつきち」をプレオープンさせた。地域の大人が関わり「斜めの関係」をつくること、体験を通じてこどもの心の成長に寄与すること、相談できる関係づくりなどを目指している。また、こどもの学習支援のためのボランティア講座をひらき、新たな活動者・活動場面を創出した。

1. **社協ボランティア振興チャレンジ補助金**

**活用事例②：その他**

**新型コロナウイルス感染症拡大防止による活動状況の調査**

・・・新型コロナウイルスの影響により、多くの地域の活動が縮小・休止されている経過がある。そのような中だからこそ、「人と人とのつながり」を再確認し、この困難を一緒に乗り越えるための工夫を活動者への情報提供に役立てていくほか、災害時や緊急事態時へのBCPに活かしたり、行政や関係団体にも地域活動の意義を改めて伝える地域福祉活動計画等に役立てることを目的に、地域福祉活動者等に対し、電話もしくは対面による聞き取り調査を実施し、報告書として作成・配布を行った。